

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 一般質問のその後（45分）</p> <p>今回、「一般質問のその後」と題しまして質問をさせていただきます。何年か前に同様の質問をさせていただきましたが、議長職を終了し、改めて確認したく、今回の質問となりました。</p> <p>鶴ヶ島市議会においては、議員のほぼ全ての皆さんが一般質問を行っており、議員の責務を果たしていると思うと同時に、他市と比較すると多くの質問者数となっている事を認識しております。</p> <p>各議員においては、多くの時間を費やして資料調査等の準備を行い質問時間に集中し、多くの市民の意見を議場へ持ち寄り、政策に対する疑問、提言等の考えを質問しております。</p> <p>一方、執行部においては全議員に対して質問に正確に答弁すべきと、多くの会議と打合せを行い、担当者においては多くの資料を用意して各議員からの再質問、再々質問に対しての答弁の準備を行い、議員の質問がどの方向に向いているのか、何を求めているのかを想定し、本会議に臨むわけであります。</p> <p>このように、両者が多くの時間を費やし、準備をした質問も長くても1時間で終了します。今回、このような状況の中で執行部として一般質問の内容をどのように取り扱うのかについて、以下の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 答弁の準備段階での流れについて。</p> <p>(2) 答弁中の言葉の意味について。（「今後の参考にしていきたい」「前向きに検討する」「検討する」「努める」「努めたい」等）</p> <p>(3) 質問の内容が政策にどのように生かせるのかについて。</p> <p>(4) 質問の内容の整理はどのように対応しているのかについて。</p> <p>(5) 質問の内容が政策に生かされた場合の議員への対応について。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>